学校運営協議会　議事録

校名	府立大塚高等学校
校長名	坂井　正洋

開催日時	令和7年11月17日（月）10:30～12:30
開催場所	府立大塚高等学校　1階　会議室
出席者(委員)	石川会長、野田副会長、畑中委員、日髙委員、前田委員、義村委員
出席者(学校)	坂井校長、千葉教頭、菊山事務長、、國分首席（兼ICT推進委員会）、 金関首席（兼人権委員会代表）、木下教務主任、洲鎌生徒指導主事、 清水進路指導主事、西村保健主事、小泉1学年主任、武林2学年主任、 石井3学年主任、（佐藤自治会主担）、舩津体育科長、
傍聴者	1名
協議資料	・学校運営協議会(第2回)次第　　・伴走型支援による府立学校働き方改革推進事業 ・研究月間及び研究授業について　・令和8年度使用教科書採択一覧表 ・体育科活動資料及び体育科運動部の戦績、陸上競技部主要大会結果
備考	

議題等(次第順)

・授業見学を終えて意見交換
報告事項
（1）伴走型支援事業について
（2）授業力向上プロジェクトについて
議事
（1）令和8年度教科書選定結果について

協議内容・承認事項等（意見の概要）

授業見学を終えて意見交換
(野田委員)授業が講義型から教員が声掛けしながらchroombookを活用して生徒が主体的に学ぶ授業が多く、中学校も活用する場面を考えながら授業を見学した。
(畑中委員)授業でのテーマがあり生徒が目的意識を持ちながらの学習活動で発信型の授業なので、生徒が生き生きしていた。一方、数学の図形の分野では、じっくり考える授業は苦労していた。情報機器を活用してどう学力定着につなげていくのかが小学校も課題である。ICT機器を活用して、どう深めていくのか高校の取組みに注目している。
(日髙委員)授業内容が進化していて驚いた。友好的な雰囲気の授業で、自由な発言ができるのがよかった。
(前田委員)Chrroombookやパソコンを活用した授業で生徒が卒業して就職する際に必要な能力をつけることができてありがたい。教員が問いかけて答える参加型の授業が多い。一方、3年生は進路の決まった生徒が寝ていたり、こんな楽しい授業参加していないのはもったいないなと思った。
(義村委員)私たちの時代より生徒と教員の距離感が近く、同じ空間で安心できる授業で、雰囲気がよく明るい学校だと思った。生徒が安心に過ごせる授業ありがとうございます。
(石川委員長)昨年よりもアップグレードを感じる授業でした。2・3年の授業ではICTを活用する授業が多く、1年生は活用していない授業だった。また、欠席した生徒や今内容がわからないという生徒にも復習する学びの担保も必要。ショッキングだったのは、英語の授業でICTの翻訳機能を利用していたこと。
報告事項
（1）伴走型支援事業について(校長より別紙資料を用いて説明)
　伴走型支援事業対象として外部人材が入って研修実施、ワークショップ実施後課題提起、その後の提案として、3学期45分授業を実施して、30分のゆとりの時間を設定して、その時間を有効に活用、生徒の学力保障についても検討している。3学期に8日間試行を得て今後について何ができるか考えていきたい。
（2）授業力向上プロジェクトチーム取組(國分首席より別紙資料説明)
・研究授業月間として6月に1回、11月に1回行っている。研究授業見学後、ワークーシート提出。明日も研究授業あり、研究授業月間最終日11/28(金)研究協議を行う予定。
議事
（1）令和8年度教科書選定結果について(教頭より別紙資料説明)
報告等
・体育科　別紙資料の取組報告
　トピックスとして楽天村林選手がゴールデングラブ賞、パリーグの最多安打賞の受賞、世界陸上東京大会で林選手（筑波大在学）が日本代表選出。現在開催中のデフリンピック北谷選手（大体大在学）が出場。本校卒業後トップアスリートとして活躍する選手を見て、大塚高校を卒業しても競技を続けることを願っている。
・各学年
1年　万博を活用して総合的な探究の時間を使っての発表を予定。また進路学習でも企業体験を行いその後発表活動を予定
2年　修学旅行を控え訪問先の宮古島についての調査を行い発表を実施。総合的な探究の授業を利用して、修学旅行を参加型にしている。
3年　進路決定しつつあるが、10年後の自分を考えさせたり、学年ではスーツの着こなし講習や金融関係の講師を招いてのライフプランの作成など卒業までに身に着けてほしいプログラムを準備している。

次回の会議日程

日時	令和8年2月9日（月）10時40分～
会場	府立大塚高等学校　会議室